

防災・減災、国土強靱化に貢献する有力企業



～注目集める高機能製品・技術を紹介～

近年、大地震や台風・集中豪雨、雪害などの自然災害が日本列島各地を襲っている。昨年9～10月に列島を直撃した台風15号(令和元年房総半島台風)と台風19号(令和元年東日本台風)は未曾有の被害をもたらした。今年に入ってから「令和2年7月豪雨」が九州、中部地区を襲い、一部地域はいまだ復興もままならない状況。来年3月には東日本大震災発生から10年になるが、列島各地で群発地震は相次いでおり、南海トラフ地震をはじめとした巨大地震の発生確率は年々高まっている。「数十年に一度」と言われるような自然災害が毎年

うに起こっている現在、災害に備えたインフラ整備や企業の対策は急務だ。鉄鋼業界、関連企業では、これまでも優れたメンテナンス性や耐久性、短工期などの特徴を持つ防災・減災関連製品を開発・市場投入し、災害対策に貢献してきた。本特集では、そうした災害に強いインフラ整備や企業の災害対策に貢献する製品、技術、サービスに焦点を当て、今注目される「日本の自然災害対策に貢献する有力鉄鋼関連企業」を紹介する。(広告掲載は順不同、特集記事中のQRコードはデンソーウェーブの登録商標)

土×技術の力



その秘密は、自然の力。
私たちの答えは、テールアルメです。

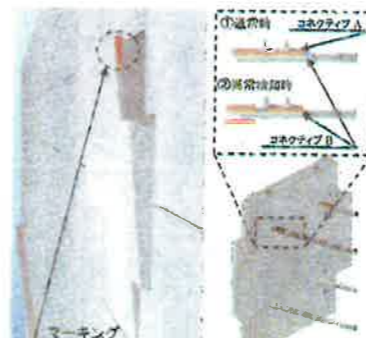
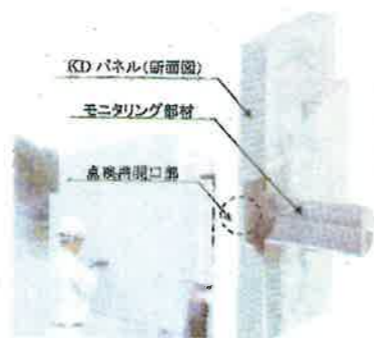
JFE 商事テールワン 株式会社

JFE

—皆様への感謝を胸に 未来創造へ—

本社:〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目7番1号 TEL.03-5203-6270 FAX.03-5203-6277

<http://www.terrearmee.com>



盛土内部に帯状の鋼製補強材を層状に敷設し、コンクリート製の壁面材と金具などで接合する補強土壁工法として世界で最も普及しているのがテールアルメ工法だ。JFE商事テールワンは「日本テールアルメ協会」の活動を通じて、技術改良や情報提供を推進する。

テールアルメFS・KDパネル

盛土内部に帯状の鋼製補強材を層状に敷設し、コンクリート製の壁面材と金具などで接合する補強土壁工法として世界で最も普及しているのがテールアルメ工法だ。JFE商事テールワンは「日本テールアルメ協会」の活動を通じて、技術改良や情報提供を推進する。

【写真右上】テールアルメFS
【写真左上】KDパネルの詳細



JFE商事テールワン